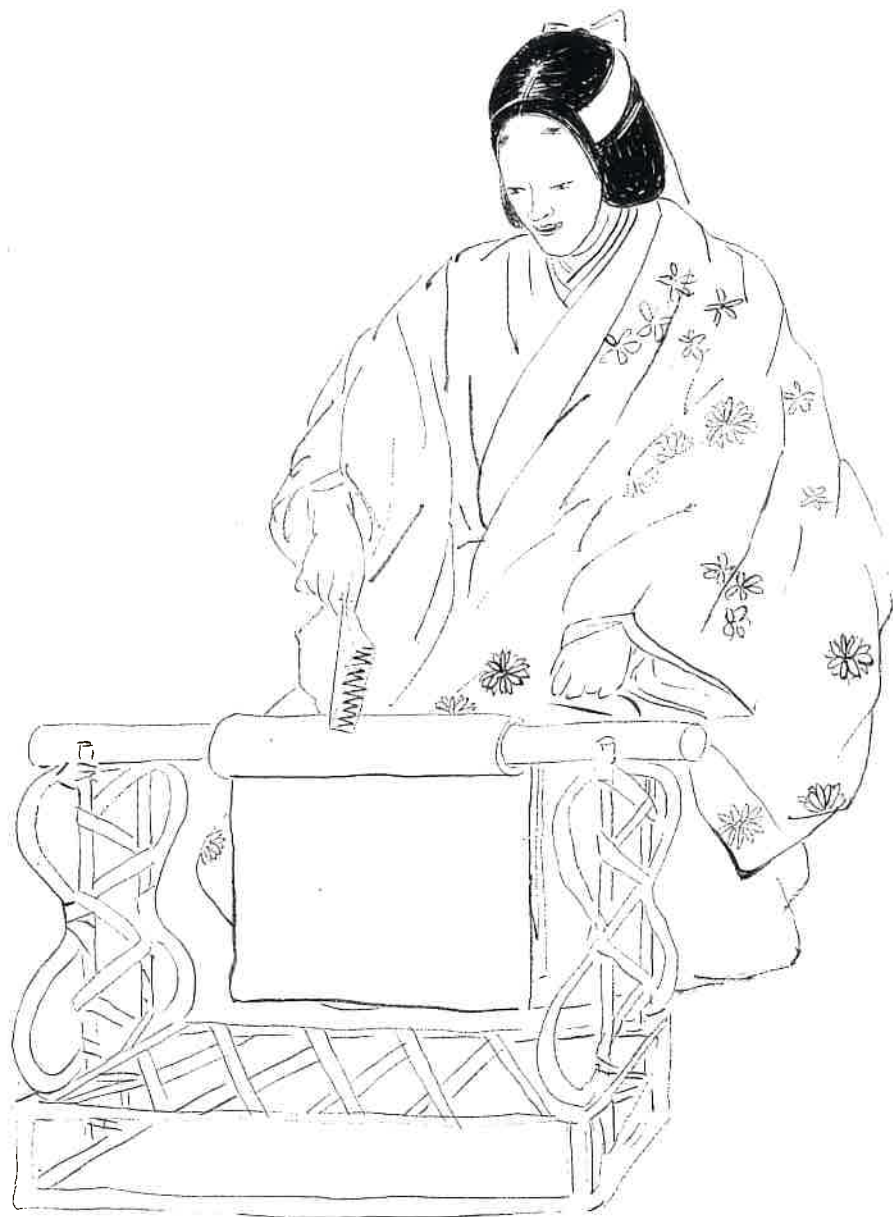




画 木月靖芳

能楽はユネスコ第一回世界無形文化遺産に登録されております

木月達雄十七回忌追善 飯塚能の会 特別公演

●能 砧 木月晶子

●舞囃子 天鼓 盤渉 山階彌右衛門
観世流御宗家御令弟

●仕舞 定家 武田宗和

令和7年11月8日(土)1時半始(開場12時半)

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園 1-5

●入 場 料 S自由席 13,000円 A自由席 12,000円 B自由席 11,000円
 桟敷席(脇正面・中正面) 8,000円 桟敷席(脇正面・中正面) 30歳未満券 5,000円
 小学生から18歳以下 140名無料 保護者51名半額

●無料お申込み QRコードからお申込みください

●お問合せ先 ☎ 070-5276-7534・☎ 0948-22-2421 (木月)

大濠公園能楽堂 ☎ 092-715-2155 他能楽師

チケットぴあ・セブン・イレブン (Pコード 537-436)

●主 催 飯塚能の会 木月靖謳会

●後 援 福岡県・福岡市・福岡市教育委員会・飯塚文化連盟・飯塚ロータリークラブ・飯塚ライオンズクラブ・
 国際ソロプチミスト飯塚・西日本新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社



文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業(申請中)



木月達雄十七回忌追善

飯塚能の会 特別公演

番組

仕舞 解説 舞

野守正 木月章行 木月宣行

采女 多利島 坂口信男

舞囃子

天鼓

山階 彌右衛門

大鼓 白坂 信行 太鼓 田中 達次

盤渉

仕舞

定家 武田宗和

地謡 今村嘉太郎 久保誠一郎 森本哲郎

休憩二十分

能

夕霧 多利島 法子 芦屋の某北ノ方 木月晶子

芦屋の某 坂苗 融 大鼓 白坂 信行 森田光次

間 野村万禄

後見 武田宗和 地謡 今村嘉太郎 多利島利之 今村誠一郎 山階彌右衛門 坂口信男 坂口貴信

追加

【あらすじ】

舞囃子・天鼓（てんこ）

中国に昔、王伯王母と

いう老夫婦がいた。王母

は天から鼓が降ってきて

胎内に入ったという夢を

見て懐妊したので、その

子を天鼓と名付けた。

ある時本当に鼓が降って

きたので、天鼓はその鼓

を大切にしていたが帝が

鼓の事を聞き、召し上げ

ようとしたので、天鼓が

嫌がった為呂水に沈めら

れた。

舞囃子では、後半部分の

用らいをうけた天鼓の霊

が現われ、回向を感謝し喜びの舞を舞い、夜明けと共に消えていく。

能・砧（きぬた）

九州筑前の芦屋の何某は訴訟のため侍女の夕霧を従えて上京して、三年になる。芦屋の北ノ方（妻）の事が気になり、侍女の夕霧に「この暮には必ず帰る」と伝えるようにと帰国させる。妻は夫の薄情を嘆き、夕霧と世の憂さを語るうちに夜がふけ里人の砧を打つ音が聞こえてくる。妻は「蘇武の妻子が高楼に登って打った砧の音が胡国の蘇武にまで聞こえた」という故事に因んで、自分も砧を打ち、この音がわが思いを乗せて都の夫の心に通じるように念じるが、この暮にも帰らぬ旨の知らせがあり、夫の愛に絶望しついに空しくなる。（中入）

帰国した夫がそれを知って用うと、妻の亡霊がやつれ果てた姿で現れる。妻は恋慕の執心かられたまま死んだために、成仏できずに夫への恋心と恨みの半ばするやるせなさを訴え、夫の不実さを責め嘆くが読経の功德により成仏する。世阿弥の芸談書『申楽談儀』に「砧の能 後の世には知る人有まじ 物憂き也」と記されている自信作である。

大濠公園能楽堂座席表

